

「さが市議会だより」

第88号

さが市議会 だより

春らしく優しい雰囲気表現できるよう、
全体的に丸みをつけ、ゆったりと大らかに
書きました。

「題字」佐賀北高等学校3年
田中 ひよりさん



干潟で羽を休める鳥たち（クロツラヘラサギとチュウシャクシギ）

令和6年11月定例会

2 | 令和6年11月定例会の概要

3 | 「市政 ここが聞きたい」 ■一般質問に28人の議員が登壇

11 | 議会に意見を届けるには

12 | 常任委員会の審査報告

14 | 委員会活動レポート

16 | 新有権者の声 聴かせてくださいあなたの声



「市政 ここが聞きたい」

一般質問

一般質問とは 議員が執行機関に対し、市政運営全般に対して行う質問です。
 質問内容 議案とは関係なく議員が決めて、事前に通告しています。
 制限時間 質問と答弁を合わせて、一人60分以内です。



1	野中 宣明 (公明党)	○高齢者等世帯に対するごみ出し支援について ▶水害対策について ▶婚活支援について
2	中島 妙子 (公明党)	○子育て世帯への訪問支援について ▶高齢者福祉について ▶医療費助成制度について
3	重田 音彦 (緑補自民)	○市の機構改革について ▶土砂災害対策について ▶山間部の農業振興について ▶公共交通の在り方について
4	江頭 弘美 (自民さが)	○「徐福」を生かしたまちづくりの方向性と今後の施策について
5	宮崎 健 (自民さが)	○消防団について ▶所有者不明土地対策について
6	重松 徹 (自民清流)	○「年収103万円の壁」の見直しについて ▶佐賀県産秋芽ノリの状況について ▶自衛隊駐屯地の隊員宿舎整備等について
7	永淵 史孝 (自民政進会)	○起業の種の発掘について ▶近現代の佐賀市史について ▶キッチンカーについて
8	御厨 洋行 (自民清流)	○ハラスメントについて ▶動物との共生フェスタ in 佐賀市について
9	堤 正之 (自民政進会)	○市南部地域の振興策について ▶地域の自主防災組織結成の取組について
10	江口 善己 (ネットワーク佐賀)	○九州新幹線西九州ルートについて ▶水産振興について
11	諸富 八千代 (自民政進会)	○安心して暮らし続けることができる地域づくりのために ▶不登校対策について ▶実態に応じた子育て支援について
12	富永 明美 (ネットワーク佐賀)	○子どもの医療費助成制度の拡充に向けて ▶市営バス事業について
13	福井 章司 (自民政進会)	○物流拠点構想について ▶移住・定住支援策について ▶河川清掃について
14	西岡 真一 (自民清流)	○保育施設の整備について ▶空き家、空き地対策について ▶ボランティア活動から生じるごみについて

15	黒田 利人 (緑補自民)	○高齢者の移手段を守る施策について ▶災害に強いまちづくりの施策について
16	江原 新子 (自民さが)	○高齢者ふれあいサロンについて ▶身寄りのない方が亡くなられた場合の対応について
17	稲葉 高広 (自民さが)	○带状疱疹ワクチンの接種費用助成について ▶インフラメンテナンスにおける包括的民間委託について ▶国民健康保険の保険者努力支援制度について
18	藤田 佳典 (ネットワーク佐賀)	○ライドシェアについて ▶佐賀市公式スーパーアプリについて ▶子ども見守りサービス（見守り人アプリ）について
19	久米 勝也 (ネットワーク佐賀)	○河川清掃について ▶投票率向上に向けた取組について
20	川原田 裕明 (緑補自民)	○公営の老人ホームの設置について ▶公営墓地の設置について
21	山下 明子 (市民共同)	○学校の体育館など避難所となる施設へのエアコン設置を ▶佐賀空港への自衛隊オスプレイ配備について ▶マイナンバー健康保険証をめぐる対応について ▶物価高騰の折、市民生活を支える施策を
22	川崎 健二 (自民さが)	○どんだんどの森の外周の整備について ▶学校教育における賤称語発言への対応について ▶周産期の喪失への支援について
23	山田 誠一郎 (ネットワーク佐賀)	○SAGA2024国スポ・全障スポを終えた今後の取組について ▶佐賀インターナショナルバルーンフェスタについて
24	松永 憲明 (ネットワーク佐賀)	○学校給食の無償化について ▶持続可能な中山間地域づくりについて
25	川副 龍之介 (自民さが)	○都市計画について ▶農業振興について
26	村岡 卓 (公明党)	○選挙投票率向上の取組について ▶観光振興の取組について
27	嘉村 弘和 (自民政進会)	○佐賀市の農業を守る取組について ▶保健行政について
28	千綿 正明 (自民さが)	○行政財産の目的外使用の申請について ▶佐賀の乱（佐賀戦争）について ▶中学校の歴史教科書について ▶がん対策について

番号は質問順、()内は党派等、掲載は大項目のみです。○がついている項目は、次ページ以降に詳細を掲載しています。

令和6年11月定例会の概要

会 期 11月28日から12月19日まで
 議決した案件 補正予算案3件、条例案8件、その他13件 合計24件
 補正予算の総額 約9億6,900万円
 (補正後の予算総額は約1,173億6,800万円。前年度同期に比べ、1.1%の減)

議案等の審議結果

議案番号	議案名	概要等	結果
114	令和6年度一般会計補正予算(第6号)	補正額 9億6,900万円	全会一致で可決
115	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	補正額 1,588万円	
116	令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	補正額 402万円	
117	職員の給与に関する条例等の改正	人事院等の勧告を踏まえ、職員等の給与を改定する	
118	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の改正	個人番号を独自に利用する事務の追加 ・産後ケア事業に関する事務 ・初回受診時における妊娠判定のための検査に要する費用の助成に関する事務	
119	手数料条例の改正	建築基準法および建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部改正等に伴い、法令に基づく事務に係る手数料の設定等を行う	
120	市営住宅条例の改正	光法団地の改築に伴い駐車場を設置する	
121*	国民健康保険条例の改正	国民健康保険法の一部改正に伴い、罰則の規定における被保険者証の返還に係る部分の削除等を行う	
122	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正	放課後児童支援員の資格要件に係る特例期間が令和7年3月31日に終了するため、放課後児童支援員の資格要件を見直す	
123	子どもの医療費の助成に関する条例及びひとり親家庭等医療費助成に関する条例の改正	子どもの医療費およびひとり親家庭等の医療費の助成に係る受給資格の確認について、個人番号カードを利用したオンラインによる確認方法の追加等を行う	
124	公民館職員の給与等に関する条例の改正	公民館職員の給与の適正化を図るため、一般職員の給与改定に準じて公民館職員の給料月額および期末手当を引き上げる	
125	佐賀市総合計画の策定	佐賀市まちづくり自治基本条例に基づき、2025年度から2040年度までの16年間を計画期間とした第3次佐賀市総合計画を定める	
126	やまびこの湯の指定管理者の指定	株式会社創裕	
127	街なか交流広場の指定管理者の指定	特定非営利活動法人まちづくり機構ユマニテさが	
128	市営住宅及び特定公共賃貸住宅の指定管理者の指定	株式会社マベック	
129	精神障害者地域生活支援センターの指定管理者の指定	特定非営利活動法人プラトさが	
130	佐賀市有線テレビの指定管理者の指定	佐賀シティビジョン株式会社	
131	富士地域振興センターの指定管理者の指定	株式会社佐賀古湯キャンプ	
132	川副運動広場及びスポーツパーク川副の指定管理者の指定	特定非営利活動法人かわそえスポーツクラブ	
133	市道路線の廃止	蠣久西線	
134	市道路線の認定	蠣久西線ほか11本	
135	鍋島中学校屋内運動場長寿命化改良(建築)工事請負契約の締結	宮地建設株式会社	
136	損害賠償の額の決定及び和解	中学校の授業時間において発生した事故に対し、損害賠償額を決定し、和解する	
137	専決処分(令和6年度一般会計補正予算(第5号))	衆議院議員総選挙および最高裁判所裁判官国民審査に要する経費について補正措置を講じる	全会一致で承認

*は11月28日に議決、その他は12月19日に議決

消防団への支援と今後の統廃合は？



地域のために日頃から頑張っている消防団

【問】 ①全国的な自治体のごみ出し支援の取り組み状況は②環境部門が主体となって実施している割合は③佐賀市でもごみ出しが困難な高齢者等世帯への戸別収集を環境部として検討すべきでは④この調査内容や環境部の考えを踏まえ、保健福祉部ではどう検討するのか。

【答】 ①令和3年調査で、支援を行っている自治体の割合は34・8%②廃棄物部局主体で支援を行っている割合は64・4%③現在策定中の佐賀市一般廃棄物処理基本計画に、高齢者を対象とした戸別収集の検討を盛り込むこととしている。福祉部局とも連携しながら支援の体制づくりを検討していきたい④今後、支援の必要な世帯が増加する一方で、担い手不足が問題になると考えられる。支援が必要な方にきちんと届くよう、環境部と連携して取り組んでいきたい。

(自民さが) みやぎき たけし 宮崎 健 5

ごみ出し困難な世帯へ新たな支援を



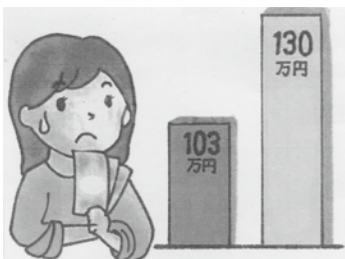
ごみ出しが困難な高齢者等のための「戸別収集」を！

(公明党) のなか のぶあき 野中 宣明 1

【問】 新たな「子育て世帯訪問支援事業」は単なる家事・育児の業務代行ではなく子育ての不安や悩みを傾聴するなど包括的な支援が求められる。①現在の取り組み内容は②質の高い支援員の養成・確保への対応は③産後ドゥーラを取り入れることは検討できないか。

【答】 ①本市では今年度から取り組みを開始した。児童家庭支援センターに委託し、保健師や心理士、保育士などの専門の支援員が支援家庭における不安や悩みを傾聴し、家庭の事情に応じた家事・育児支援を実施している②複数の専門スタッフに関わってもらっており、現時点では対応可能と考えている③子育ての悩みや不安を抱えた家庭に寄り添い、必要な支援がしっかりと届くような仕組みづくりが重要だと考えており、産後ドゥーラも含めて、今後研究していきたい。

年収103万円の壁 市長の见解は



手取り増、「働き控え」改善にも期待

【問】 所得税の非課税ラインが年収103万円から178万円に引き上げられた場合、佐賀市の税収は約38・5億円減少し、現在の行政サービスの継続が困難になる恐れがある。103万円の壁の問題と財源に関する課題について、市長はどのように考えるか。

【答】 103万円の壁の議論に関しては、誰もが希望する働き方やライフスタイルを選択でき、人手不足の解消などにもつながっていくことは意義のあることだと考えている。一方、市民税は、市民に身近な行政サービスの基盤となる収入である。税収が大きく減少した場合、行政サービスに大きな影響を及ぼすことが考えられる。全国市長会の意見書で述べているとおり、地方の財政運営に悪影響を及ぼすことがないような制度設計を国に求めたい。

(自民清流) しげまつ とおる 重松 徹 6

安心して子育てができる環境を！



産後ドゥーラは産前産後の母親に寄り添います

【問】 ①SAGA2024国スポ・全障スポの終了を機に、市の機構を全体的に見直しは②農業振興を考えると支所単位ではなく、南部に農水事務所、北部に農林事務所を設置しては③中山間地域の活性化が目的である地域政策課は、現場近くに設置すべきでは。

【答】 ①大会終了に伴い組織機構を見直すに当たっては、効果的で効率的な行政組織となるよう検討したい②農政事務は、地域ごとに身近な場所からの行政支援や連携を求められたことから各支所で所管している。事務所の設置は、これまでの経緯や現状を踏まえ、慎重に検討していく③担当地域までの距離が離れており、現場に近いほうが効率的な場合がある。主たる事務所は本庁または支所に置きつつも、現場に近い庁舎などで職務ができる環境の整備に努めていきたい。

(公明党) なかしま たえこ 中島 妙子 2

起業の種を発掘しさらなる経済発展を



起業家を発掘し、人口減社会でも豊かな市を目指そう！

【問】 ①起業につなげる取り組みの実績は②開業が決まった県立大を念頭に、若いチカラの起業を後押しする施策が必要では③ビジネスプランコンテストを提案するが、市の考えは④起業や創業を目指す起業家を本気で育てるために本市が求められているものは。

【答】 ①インキュベーションルームは10室中7室が入居済み、1室が審査中。産業支援相談室の前年度相談件数は650件。また、セミナーやネットワークづくりの座談会を実施②産学官連携の体制を強化し、付加価値の高い新しいビジネスを生み出す取り組みも検討している③有効な手段と認識している。さまざまな手法があるので、より効果が高い手法等を具体的に検討する④より成果が得られるような支援策を研究し、多くの方が本市を起業・創業の地としてもらえる取り組みを進める。

(自民政進会) なかふち ふみたか 永瀧 史孝 7

市の機構改革を急げ！



地域政策課から佐賀古湯キャンパスまでは約20km

【問】 徐福長寿館、薬用植物園も開館から30年余り経ち、施設の劣化、不備もありイノシシ被害も甚大である。この現状は、徐福に対する行政の一体化の認識欠如も起因するのではないかと考える。市は今後どのように徐福を位置付けていこうと考えているのか。

【答】 徐福に関してはこれまで歴史・文化、国際交流、健康づくり、教育、観光資源などまちづくりのさまざまな分野においての取り組みを進めてきた。今後も庁内の関係部署、関係団体との意見交換や情報共有をしっかりと行っていくことで徐福を生かす取り組みを進めていきたい。また、友好都市である連雲港市との交流事業も再開したいと考えており、徐福に関するこのような取り組みを通じて多くの人々のつながりがこの佐賀に生まれることを期待したい。

(緑補自民) しげた なるひこ 重田 音彦 3

職員へのハラスメント対策を急げ！



ストップ！ハラスメント (写真はイメージ)

【問】 全国の調査で公務員の46%がカスハラを「日常的に受けている」「時々受けている」と回答している。①佐賀市のカスハラ対策は②被害者への支援体制は③富士大和温泉病院で働き方に関するアンケートを実施したようだが、現場の声にどのように対応するのか。

【答】 ①クレーム対応マニュアルを作成し、全庁へ周知。いくつかの部署で試験的に、通話録音と音声ガイダンスによる通話を導入。一部の窓口部門では暴力等に迅速に対応するために、警察OBを配置し警察とも連携②相談窓口を設置し対応。心身の不調を訴える職員にはカウンセリングや精神科医への相談対応を実施③職員の悩み事や困り事などの把握に努め、健全な職場環境および公平な市民サービスを維持するために必要な取り組みについて、適宜、検討していきたいと考えている。

(自民清流) みくりや ひろゆき 御厨 洋行 8

徐福が泣いている！急げ環境整備を



イノシシに荒らされ公園は無残な状況。対策は喫緊の課題

【問】 徐福長寿館、薬用植物園も開館から30年余り経ち、施設の劣化、不備もありイノシシ被害も甚大である。この現状は、徐福に対する行政の一体化の認識欠如も起因するのではないかと考える。市は今後どのように徐福を位置付けていこうと考えているのか。

【答】 徐福に関してはこれまで歴史・文化、国際交流、健康づくり、教育、観光資源などまちづくりのさまざまな分野においての取り組みを進めてきた。今後も庁内の関係部署、関係団体との意見交換や情報共有をしっかりと行っていくことで徐福を生かす取り組みを進めていきたい。また、友好都市である連雲港市との交流事業も再開したいと考えており、徐福に関するこのような取り組みを通じて多くの人々のつながりがこの佐賀に生まれることを期待したい。

(自民さが) えがしら ひろみ 江頭 弘美 4

※2 インキュベーションルーム…新しい発想やアイデアを持っている人、新たな事業分野へ挑戦しようとする人に、研究・開発の拠点として、場所や設備を一定期間提供することにより、それらを事業化できるよう応援する場所。所在地はiスクエアビル5階 産業支援プラザ。
※3 カスハラ ……カスタマーハラスメントの略語。顧客等からの暴行、脅迫、ひどい暴言、不当な要求等著しい迷惑行為。

※1 産後ドゥーラ…一般社団法人ドゥーラ協会から認定を受けた産前産後ケアの専門家。産前産後の女性特有のニーズに応え、母親の気持ちに寄り添ったサポート（家事、育児、相談・助言等）を行う。
さが市議会だより第88号（令和6年11月定例会）

物流拠点構想をしっかりと検討せよ！



佐賀空港と有明海沿岸道路に隣接する物流拠点の整備

問 ①平成31年に夜間貨物便が運休となったが、貨物便を重視する県と市の方向性は一致しており、今後も連携して協議していく②有明海沿岸道路や佐賀唐津道路の延伸による南部地域との連携の可能性を検討する③交通の要衝となるような地域を念頭に検討する④企業への意向調査の結果などを踏まえて検討する⑤設備投資意欲のある企業が一定程度存在することが把握できた⑥構想に盛り込む内容を踏まえて検討する⑦先行事例を踏まえ、より効率的かつ経済的な手法を検討する。

(自民政進会) 13
ふくい しょうじ
福井 章司

問 ①佐賀空港の貨物便の経緯とこの件で県と市の協議は②構想での鍋島駅の位置づけは③具体的な南部地域の場所は④具体的な規模は⑤物流拠点へのニーズ調査の内容と結果は⑥今後のスケジュールは⑦南部地域は軟弱地盤で建設価格高騰もあるがどう考えるか。

市南部地域の具体的な振興策は



茨城空港近くの地域再生施設「空のえき そ・ら・ら」

問 ①国が予定していたフリーゲージトレインの導入を断念したため②国はフル規格で佐賀駅を通るルート提案。県は、現在の事態を招いたのは国の責任とし、九州全体の将来を見据えた議論を求めている③在来線は市民の暮らしや経済活動に密着した重要な移動手段。鉄道環境を重視する必要がある④多様な選択肢を検討し、それに伴うさまざまな論点をセットで協議する必要がある⑤フリーゲージトレインの開発断念という佐賀の特殊事情を踏まえた議論を期待している。

(自民政進会) 9
つづみ まさゆき
堤 正之

問 市南部地域は、自衛隊駐屯地の開設や有明海沿岸道路の開通で劇的に変わる。①駐屯地開設を契機とした取り組みは②地域の特性を生かした活性化策は③短期・中期的な振興策は④地域のにぎわい創出や情報発信を担う拠点となる施設が必要では。

保育の需要は満たされているか？



働きながら子育てできる環境の充実を(写真はイメージ)

問 保育所に子どもを預けてはいるが、希望した園ではない、もっと居住地近くに整備してもらえないか、などの声を聞く。①入りたい園が空くまで女性が就業を控えているというようなどことはないのか②保育需要の受け皿整備は、今後どのように行っていくのか。

(自民清流) 14
にしおか しんいち
西岡 真一

答 ①希望する園の空きがなく、就業を控えた方もいると想定される。こうした状況を改善するため、優先度の高い方の入所調整基準点を見直すなどの工夫にも取り組んでいる②今後5年間の保育需要の受け皿は確保可能と見込んでいるが、需要が変化し、受け皿が不足する状況が生じた場合、計画の見直しも検討したい。また、保育の量だけでなく質の向上へとシフトしていく必要があると考えており、多様なサービスを提供できるように取り組むたい。

九州新幹線西九州ルートを検証する



武雄温泉～長崎間は令和4年開業。新鳥栖～武雄温泉間は？

問 ①整備計画から50年も経過している。先が予測できないのはなぜか②国と県の幅広い協議の主な意見は③在来線の利便性低下への市の見解は④佐賀空港ルートに関する山口知事の発言に対する市の受け止め方は⑤市の対応が分かりにくい。市長の思いは。

(ネットワーク佐賀) 10
えくち よしみ
江口 善己

答 ①国が予定していたフリーゲージトレインの導入を断念したため②国はフル規格で佐賀駅を通るルート提案。県は、現在の事態を招いたのは国の責任とし、九州全体の将来を見据えた議論を求めている③在来線は市民の暮らしや経済活動に密着した重要な移動手段。鉄道環境を重視する必要がある④多様な選択肢を検討し、それに伴うさまざまな論点をセットで協議する必要がある⑤フリーゲージトレインの開発断念という佐賀の特殊事情を踏まえた議論を期待している。

免許を返納した高齢者への支援策は



免許返納後、移動手段に悩む高齢者(写真はイメージ)

問 住民から、高齢であるため運転免許証を返納したが、近くに公共交通(路線バス)がなく、日常の移動ができなくなるとの声があった。タクシーを利用しようにも、運賃が高く気軽に利用できない。高齢者の運転免許証返納者の移動手段を守る施策を問う。

(緑楠自民) 15
くろだ としと
黒田 利人

答 返納者に対しては、交通局が市営バス全路線を半額の運賃で利用できる高齢者ノリのりパスを実施している。返納者に限らない支援策は、70歳以上の方が市営バス等を1回1000円で利用できるシルバーパス券購入費への助成、介護予防事業で移動支援活動を行う住民等に対する運営費の助成、コミュニティバス等の運行への補助がある。今後は、佐賀市介護予防・生活支援推進協議会で連携や協働によるサービスを検討するほか、福祉だけでなく交通部と連携し、取り組んでいく。

1人暮らし高齢世帯が今後急増



安心して暮らし続けられるまちづくり

問 国立社会保障・人口問題研究所の推計では単身高齢者世帯が2050年には1084万人となる。①市の高齢者実態調査における単身世帯の割合と困り事は②認知症の人が増えると予測されるが市の施策は③本人の意思確認が難しい場合の対策は④就労支援は。

(自民政進会) 11
もろどみ やちよ
諸富 八千代

答 ①65歳以上を対象とした令和5年度の調査では、回答した在宅高齢者の19.4%が単身世帯。主な困り事は健康面の不安②あんしん見守り事前登録事業、ものわずれ相談室、認知症初期集中支援チームの取り組みを通じ、高齢者や家族のニーズに応じた適切な支援に努めている③相談内容に応じた成年後見制度などの利用につなぐ④おたっしや本舗に配置したコーデイナーが本人の社会参加への意欲や家族のニーズを把握し、地域住民や事業者につなぐなど状況に応じ支援している。

単位自治会に複数サロン設置可能か



高齢者ふれあいサロン活動でいきいき介護予防

問 佐賀市の地域福祉・介護予防に貢献されている高齢者ふれあいサロン活動であるが、新規申請の際、単位自治会内に既存サロンがある場合は認められないようだとの声が市民から寄せられている。具体的な設置判断基準を示していただきたい。

(自民さが) 16
えはら しんこ
江原 新子

答 既にサロンがある単位自治会でも新たにサロンを運営したいと相談があった場合は地域の状況を考慮しながら総合的に判断し決定していきたい。具体的には、既存のサロンと異なる活動をしたい、現在のサロンに行くのが不便である、高齢者の比率が他のところと比べて高いなどそれぞれの事情を伺いながら判断したい。新しいサロンを考えているのであれば、まずは市へ相談いただきたい。

高校生年代まで医療費助成拡充を！



佐賀市はまだ？自治体によって違う子どもの医療費助成

問 本市では現在、中学生までの助成となっている子どもの医療費助成制度。自治体間で格差があり、高校生年代まで拡充する自治体は年々増えている。子育て世代にとって支援策の有無は住む地域を選ぶ基準にもなっており、本市も早急な対応が望まれると思うが。

(ネットワーク佐賀) 12
とみなが あけみ
富永 明美

答 高校生年代まで助成対象を拡充した場合、年間1億4000万円程度が必要になると見込んでおり、大きな財政負担が伴う。子どもの医療費助成制度は、出産から子育てまでのライフステージにおける経済的支援の柱として、県と市町が共に取り組んできた重要な制度の一つであると認識しており、現在、就学前の子どもが対象となっている県からの財政支援について、小学生以上への拡大を要望しながら、助成対象拡充の実施に向けて検討していきたい。



小中学校の体育館にエアコン設置を

(市民共同)
やました あきこ
山下 明子

21



教育でも地域活動でも身近な小中学校の体育館

問 授業や社会体育、災害時の長期の避難所として使う小中学校の体育館にエアコン設置は必要だと思いが①見解は②大規模改修を行う学校から設置してはどうか③国への財政支援拡充の要望は④エアコン設置に重点を置いた補助の拡充を要望すべきでは。

答 ①学校施設の整備は老朽化対策やトイレの洋式化等を優先しており、エアコン設置は継続的に検討すべき課題と考えている②大規模改修と同時に設置すればコスト削減等が見込まれる一方で、多くの一般財源への負担が見込まれるため、他の学校施設の整備を優先したい③佐賀県公立学校施設整備期成会を通じ財政支援の要望を行っており、今年7月にも補助単価や補助上限額の引き上げを要望した④今後も補助単価や補助上限額の引き上げについて、国に要望していきたい。



带状疱疹ワクチンの公費助成を

(自民さが)
いなば たかひろ
稲葉 高広

17



带状疱疹はワクチン接種で発症を防ぐ

問 来年度から带状疱疹ワクチンが定期接種化されると報道があっている。報道によると対象者は65歳からとのことだが、带状疱疹は50歳から発症が増えることとされている。50歳から64歳までの方々に対し、ワクチン接種の公費助成を検討すべきでは。

答 定期接種の対象年齢は国の予防接種基本方針部会で審議されている。その中で带状疱疹の発症が70歳頃に増加することやワクチンの有効性、持続期間を考慮して70歳頃に十分な効果が出るよう、またできるだけ少ない費用で高い効果が得られるよう65歳以上とする方向で議論されている。本市としては国の定期接種化に合わせて実施したい。



どん3の森の外周整備を問う

(自民さが)
かわさき けんじ
川崎 健二

22



古賀義治氏が中島潔氏の絵をもとに制作した「柿の実」像

問 どん3の森が整備されて30年。老朽化が目立ってきた。①市立図書館のリニューアルを控えた中で外周の整備は②特に南西の親水池の整備は③かっぱや子どもの像の由来などストーリー性を大切にすべきでは④広く市民の意見を募るべきと考えるが。

答 ①まずは清掃や修繕を行い、市民が快適で安全に利用できる環境を整えたい。具体的な整備内容の検討には至っていないが、リニューアル後の図書館と調和した、幅広い世代の市民に愛される場所となるよう議論したい②都市再生整備計画事業に位置づけ、図書館と一体的に利用できるような整備したい③ストーリー性も含め、求められている意識や価値観を検討したい④既に寄せられている貴重な意見や市民ニーズの多様化、生活スタイルの変化などを考慮し検討していきたい。



公共ライドシェアの導入検討を

(ネットワーク佐賀)
ふじた よしのり
藤田 佳典

18



日本版ライドシェア出発式

問 ①10月に市でスタートした日本版ライドシェアについて、国スボ等のイベント期間の総括を②利用者の反応は③ドライバーからの意見は④継続性の確保が重要と考えるが、市の考えは⑤県内にも広がりにつつある公共ライドシェアの取り組みについて、市の考えは。

答 ①多くの移動ニーズに応えることができ、深刻な供給不足にも陥らず、事故やトラブルもなかった。タクシー不足を補完する役割が果たせた②アプリで高い評価を得た③前向きな意見が多い印象だが、始業前の点呼を遠隔でできるシステム導入の要望もあった④タクシー事業者や配車アプリ事業者と連携し、適切な運行体制に向けて改善を図りたい⑤地域住民や来訪者の移動手段の確保に有効であると認識している。地域の実情に応じた導入の検討を行ってきたい。



国スポ・全障スポを終えて…

(ネットワーク佐賀)
やまだ せいいちろう
山田 誠一郎

23



スポーツを生かしたまちづくりを！！

問 ①国スポ・全障スポの総括を②国スポ・全障スポを終えた今、メイン会場となった本市の市長として、まちづくりへの思いは③中学校部活動の地域展開にどうつなげていくのか④今後、本市のスポーツ振興をどのようにしていくのか。

答 ①多くの人がスポーツのチカラを実感し、自分らしいスポーツの楽しみ方を知るきっかけづくりとなった②大会開催で得たものを生かし、全世代が自分らしくスポーツを楽しむことができる機会につなぐ。地域経済の振興やウェルビーイング社会の実現を図り、互いに理解し支え合う共生社会を目指す③子どもたちがアスリートから学ぶ機会をつくっていく④一人一人がスポーツに関わる環境づくりやスポーツのチカラを地域にぎわいやまちづくりに役立てる取り組みを推進する。



河川清掃の参加人員増の対策を！

(ネットワーク佐賀)
くめ かつや
久米 勝也

19



みんなで取り組む「一斉河川清掃」！！

問 少子高齢化や人口減少時代においては、「川を愛する週間」の参加人員が減少しており、今後も継続していくためには、新たな対策が必要と思う。市は今年度から企業等パートナー制度を導入して取り組んでいるとのことだが、登録推進に向けた今後の取り組みは。

答 登録いただいた企業や学校等には認定書を交付し、市のホームページ等で紹介する。活動事例をPRして新たに登録いただける企業等の掘り起こしを積極的に行い、この活動の輪を広げたい。自治会や企業等での認知度の向上、制度理解の促進をさらに図る必要がある。今後は実際に取り組むを行った企業等のインタビュー等を交えて、企業側の目線で紹介したい。また、企業や学校等の直接訪問を今後も継続して実施し、丁寧な説明を行い、新規登録の拡大を図っていきたい。



学校給食の無償化を進めるべきでは

(ネットワーク佐賀)
まつなが けんめい
松永 憲明

24



おいしい給食をみんなで食べよう (写真はイメージ)

問 ①小学校給食の無償化を先行実施すべきではないか。波及効果として、子育て世帯の佐賀市への転入増、全ての家庭が給食費を気にせずに済む、出生率の向上等が期待される②中学校給食未実施校に完全給食実施のアンケート調査を実施すべきではないか。

答 ①給食の無償化については、他の実施自治体の研究を進めていくが、現時点では、教育施設等の環境整備、特別支援教育の充実、GIGAスクールなどの教育課題への対応について優先して取り組んでいきたい②中学校給食検討委員会において給食の提供方法について生徒、保護者、教職員にアンケートを実施し、選択制給食が望ましいとした経緯がある。その後も中学1年生を対象としたアンケートは毎年実施しているが、全体的なアンケートの必要性について検討していきたい。



公営の老人ホームの設置を

(緑橋自民)
かわはら たひろあき
川原田 裕明

20



高齢者が安心して暮らせる住環境を！

問 全国的に高齢化が進んでおり、佐賀市も同様である。高齢の低所得者が老人ホームへの入所を希望する場合、月額費用がネックとなり、厳しいのが現状である。市営住宅のように収入の範囲内で入居できる公営の老人ホームの設置が必要と考えるが、市の考えは。

答 低所得者などが老人ホームへ入所希望の場合は、減額制度が適用される施設を案内。経済的な理由などで在宅での生活が困難な方には、行政措置の養護老人ホームへの入所を検討。生活困窮し保護の対象となる方は、生活保護制度により施設を利用いただいている。これらの制度があるため、現時点では公営の老人ホーム整備は考えてない。しかし、今後、単身の高齢者の増加などにより、住まいに対するニーズが高まるものと認識しており、国の動向を含めて情報収集していきたい。

※4 日本版ライドシェア…タクシーが不足している地域、時期、時間帯と不足車両数に対し、その不足分を補うため、タクシー事業者が主体となって、地域の自家用車・一般ドライバーを活用して提供する有償の旅客運送。

※5 公共ライドシェア…バスやタクシーによって輸送手段を確保することが困難な場合に、市町村やNPO法人などが自家用車を活用して提供する有償の旅客運送。

議会に意見を届けるには ～ 請願と陳情～

どなたでも、市政についての意見や要望を、文書で直接市議会に提出することができます。これを「請願」や「陳情」といいます。



請願

- ・紹介議員（内容に賛成する議員）が必要です。
- ・議会でその内容を審議の上、採択・不採択を議決し、採択されたものは市長等へ送付します。

請願審査の流れ

1. 請願書の提出

請願書の原本を、議会事務局までお持ちいただくか、または郵送してください（FAXや電子メールは不可）。



2. 委員会での審査

各定例会（3月、6月、9月、12月開会予定）開会直後の定められた日の午後5時までに受理した請願書は、その定例会の委員会で審査・採決を行います。



3. 本会議での議決（採択、不採択）

委員会の採決結果を踏まえて、本会議で採択、不採択を決定します。採択になった場合、議会で対処できることは議会で処理し、その他は関係すると思われる市の執行機関などへ送付して、請願者の要望に応えられるように努力します。請願の送付を受けた執行機関などに法的な義務は発生しませんが、議会は処理の経過と結果の報告を請求することができます。



陳情

- ・紹介議員（内容に賛成する議員）は不要です。
- ・陳情書の写しを全議員へ配布し、その後の取り扱いについては個々の議員の判断に委ねています。

請願書、陳情書の書き方などの詳しい手続き方法をホームページに掲載しています。

詳しくはこちら↓



または

佐賀市議会 請願 陳情

検索



詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。(TEL 0952-40-7311)

都市計画と道路整備について

(自民さが) かわそえ りゅうの すけ
川副 龍之介

25



気持ちがいい道路と街並み

問 ①有明海沿岸道路と佐賀唐津道路が全線開通したときの都市計画をどのように捉えているのか②佐賀唐津道路の嘉瀬北インターから佐賀市中心街へ向かう車両が増えると予測される。大財町北島線区間内の上多布施大財町線の整備が必要と考えるが、市の見解は。

答 ①国が行った市内道路への影響調査の結果では、市内の交通がこれらの道路に転換され、混雑緩和に寄与することが見込まれる。本市における将来交通量推計調査でも問題ないことを確認しているが、今後の交通事情や社会情勢の変化などが都市計画道路網にどう影響するか、状況を見ていきたい②将来交通量推計調査の結果を踏まえ、現時点で都市計画道路を見直す予定はない。今後、交通局庁舎の整備を含めた市街地の情勢の変化などを考慮し、拡幅等の必要性を考えていきたい。

誰もが投票しやすい環境整備を！

(公明党) むらおか たかし
村岡 卓

26



投票所用コミュニケーションボード (例)

問 市では投票所における投票支援にさまざまな取り組みがなされている。今年度から投票支援カードを採用されたが①導入の経緯は②10月の衆議院選挙における利用実績は③他市町の活用事例を見るとコミュニケーションボードと併用されているケースが多いが市ではどうか。

答 ①投票所への入場を躊躇される方、係員からの過度の支援に不快な思いをされる方などが見受けられていたため、総務省や先進自治体を参考に導入した②利用実績は少なかつたが認識。必要な方へ情報が行き届いていなかったこと、投票所での設置等の課題があるため、周知、運用方法等について工夫したい③まずは投票支援カードの定着を図っていきたい。併せて、コミュニケーションボードの導入については、関係機関等との意見交換等により、研究していきたい。

土地利用型農業のスマート化推進を

(自民政進会) かむら ひろかず
嘉村 弘和

27



未来をつなぐスマート農業で収量アップと負担軽減！

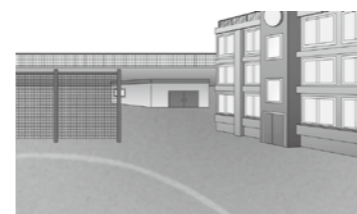
問 ①スマート農業で、自動運転トラクターやドローン等の作業効率や精度を上げるためにRTK基地局（高精度位置情報提供システム）の設置が必要だが市の考えは②法改正により令和7年度から農地の集積・集約が農地中間管理機構に一本化される効果は。

答 ①民間資源の有効活用を図るため市での設置は考えていないが、スマート農業導入支援を行っており、そのメニューの中で、電波が届きにくい中山間地域での移動式RTK基地局の導入に対する支援を行っている②農地の貸手、借手の間に農地中間管理機構が入ること、所有者には賃料が確実に支払われ、耕作者は、複数の所有者がいても一括して機構へ払うことで、支払いの負担が大幅に省けるようになる。今後、当該機構と連携協力し、農地の集積・集約を推進していく。

行政財産の目的外使用を複数年に

(自民さが) ちわた まさあき
千綿 正明

28



社会体育の用具を入れる倉庫の使用も毎年申請が必要

問 現在、市が所有する行政財産を借用する場合、毎年目的外使用許可申請書を出す必要がある。複数年で使用する場合も毎年申請書を出す必要があるが、規則を変更し、複数年使用できるようにすれば、申請側と市側の負担が減ると思うが、変更すべきでは。

答 許可年数を現在の1年から複数年に変更することは、申請者と市の双方で事務の省力化につながるかと考えるが、期間の長期化で行政財産の本来の目的への影響や行政財産の管理、責任の所在の曖昧化など注意が必要となる。今後、他市の事例を参考とし、制度や運用の見直しについて検討していきたい。

※6 投票支援カード…投票所において支援が必要な方が、カードに記載の支援項目へのチェックや希望内容を記載し、係員に提示することで、必要な支援を伝えられるツール。佐賀市では、投票用紙への代理記載、投票所内の付き添い、文字の読み上げ等を掲載している。

総務委員会

補 大和支所改修事業

〔質問〕支所への移転を予定している佐賀中部農林事務所の公用車や通勤車両により、支所の駐車スペースが不足しないか。

〔答弁〕中部農林事務所の公用車15台の駐車スペースは、北側駐車場に確保し、そのことによる不足分は東側エントランスの改修で補いたい。また、職員の駐車場は、県が支所敷地外に別途確保すると聞いている。

〔質問〕支所東側エントランスを駐車場に改修する部分の駐車台数は、何台になるのか。また、身障者用駐車場は何台分を計画しているのか。



議案の審査に当たり、大和支所庁舎の現地視察を行いました。

でいる。身障者用駐車場の数はその枠の中で検討したい。

〔質問〕中部農林事務所から、使用料は徴収するのか。

〔答弁〕建物部分および駐車場の占有部分について、適切な使用料を徴収する。

〔質問〕北側の道路との境に植え込みがあり、車両進入口の見通しが悪い。対策が必要ではないか。

〔答弁〕現地を確認し、支障があれば対応したい。

〔審査結果〕全ての議案について、可決または承認すべきものと決定。

委員会で審査した議案

- 一般会計補正予算（第6号）（所管分）
 - 職員の給与に関する条例等の改正
 - 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の改正
 - 公民館職員の給与等に関する条例の改正
 - 佐賀市総合計画の策定
 - 佐賀市有線テレビの指定管理者の指定
 - 専決処分（一般会計補正予算（第5号））
- その他2件

福祉教育委員会

補 こども家庭センター開設準備経費

〔質問〕こども家庭センターを設置することにより、職員の配置はどのように変わるのか。

〔答弁〕こども家庭センターは市役所本庁舎内に設置し、こども家庭課、健康づくり課、障がい福祉課といった複数の課が関係することとなる。また、新たな業務も発生するため、増員を含めた職員体制について、関係各課と協議しながら調整を行っている。

〔質問〕現行の窓口はどのように変わるのか。

〔答弁〕子どもに関する複数の相談窓口を一本化することで、市民に



児童福祉機能と母子保健機能の一体的な運営を行う「こども家庭センター」を設置し、妊産婦や乳幼児の健康の保持・増進、子ども子育て家庭の福祉に関する支援を切れ目なく提供する。

とって相談窓口が分かりやすく、必要ならサービスにつながるために、関係部署とより密接した連携がとれるようになると考えている。また、子どもや保護者の意向を聞きながら、より身近で寄り添った対応ができるようになると考えている。

〔質問〕他の自治体における設置状況はどうなっているか。

〔答弁〕児童福祉法の改正に伴い、令和8年度末までに設置することが努力義務となっており、全国の設置率は約50%である。

〔審査結果〕全ての議案について、可決すべきものと決定。

委員会で審査した議案

- 一般会計補正予算（第6号）（所管分）
 - 国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
 - 後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
 - 国民健康保険条例の改正
 - 精神障害者地域生活支援センターの指定管理者の指定
 - 鍋島中学校屋内運動場長寿命化改良（建築）
- 工事請負契約の締結
- その他3件

経済産業委員会

補 新市20周年記念空飛ぶ感動誕生事業

〔説明〕令和7年10月に迎える新市20周年を記念し、熱気球を製作。デザインは、市民が持つ市のイメージを基に、公募型のプロポーザルを実施する。熱気球の愛称は、市民からの募集を考えている。新しい熱気球は、来年度市内の全小学校を訪問して実施する係留体験搭乗などに活用していきたい。

〔質問〕市が所有する熱気球は何機で、耐用年数はどれくらいか。

〔答弁〕7機所有。一般的に300〜400時間ほど飛行できるが、係留は負荷がかかり、飛行可能時間は短くなる。



新しい熱気球はどんなデザインかな。

委員会で審査した議案

- 一般会計補正予算（第6号）（所管分）
- やまびこの湯の指定管理者の指定
- 街なか交流広場の指定管理者の指定

〔質問〕係留体験搭乗は、市内の全小学校で実施できるのか。

〔答弁〕全ての小学校で開催したい。市だけでなく企業等の協力を得ながら進めていきたい。

〔質問〕愛称の公募は、小学生の搭乗体験があるので、子どもたちの意見が反映されるようにしたらどうか。

〔答弁〕単に製作だけでなく、広く市民を巻き込んだ取り組みにしていきたい。

〔審査結果〕全ての議案について、可決すべきものと決定。

建設環境委員会

補 排水ポンプ車整備事業

〔説明〕近年の豪雨による浸水被害を考慮し、緊急時に迅速かつ効率的な排水を可能にするために、排水ポンプ車1台を導入する。水中ポンプ4基、毎分30トンの総排水能力を有する、国土交通省が所有する車両と同規格のものを想定。事業費は6470万円で、納車は令和8年3月を予定。

〔質問〕浸水被害はさまざまな場所で見起きている。近隣自治体から派遣要請があった場合は、貸し出すのか。

〔答弁〕まずは、本市を優先した運用を考えている。一方、近年は短期集中的な豪雨の発生が容易に想定さ



導入予定の排水ポンプ車のイメージ（左側の白い車両）

れるため、派遣については他市町と協議していきたい。

〔質問〕今後、台数を増やす計画はあるか。

〔答弁〕基本的には固定式の排水機場の整備を進めたい。しかし、排水機場の整備には相当の期間、予算がかかることが予想される。排水ポンプ車の増台については、運用状況や市内の浸水被害の状況、予算などを総合的に勘案しながら検討したい。

〔審査結果〕全ての議案について、可決すべきものと決定。

委員会で審査した議案

- 一般会計補正予算（第6号）（所管分）
- 手数料条例の改正
- 市営住宅条例の改正
- 市営住宅及び特定公共賃貸住宅の指定管理者の指定
- 市道路線の廃止
- 市道路線の認定

委員会活動レポート ②

九州新幹線整備に関する調査特別委員会

9月5日(木)

これまでの調査を基に、佐賀市にとって課題と思われる点を整理し、委員間協議を行いました。

【委員間協議】

- 仮に、佐賀駅周辺に新幹線の停車駅や新幹線用線路が設置される場合、そのために必要な用地の確保が課題である。
- 全国新幹線鉄道整備法により佐賀市にも財政負担を求められる可能性がある。また、求められた場合、現時点では、佐賀市の財政負担について具体的な割合や金額が不明である。
- 現在の在来線はどのくらい減便になるのか、現段階ではわからない。

今後は、今回整理した内容を基に調査を進めていくこととしました。

10月22日(火)

執行部から、昭和61年に示された環境影響評価報告書案に掲載されている計画概要図や環境図を基に、佐賀駅周辺の概要などの説明を受けました。また、環境影響評価報告書案が公表された年から現在までの佐賀駅周辺の土地利用や用途地域の変遷について説明を受けました。

執行部からの説明の後、佐賀駅周辺の状況について現地調査し、委員間協議を行いました。

【委員間協議】

- 仮に、佐賀駅を通るルートで整備した場合、佐賀駅周辺の用地確保が課題であると感じたが、以前、国土交通省から説明があったように、技術的には既存駅への新駅設置も可能ではないかと感じた。
- 新幹線整備を踏まえ、長期的な視点で佐賀市のまちづくりをどうしていくか考えていかなければならない。
- 新幹線整備に関する手続きの流れや、関係機関の役割や権限、また、地元自治体の意見を反映させることができるのかについても調査していきたい。



JR 佐賀駅サンライズ口（北口）周辺での現地調査

中核市移行に関する調査特別委員会

10月21日(月)

8月2日に開催された第7回庁内検討会の内容等について説明を求めました。執行部からは、中核市移行自治体から統括保健師を講師に招いて7月に開催した中核市の保健師業務に関する職員勉強会で見てきた課題や展望、また10月に新たに設置された佐賀県・佐賀市勉強会についての説明がありました。

Q 移行宣言までのスケジュールはどのように考えているのか。

A これまでは他都市の事例を研究してきたが、移譲される業務がどういったものかを理解することも必要であり、ワーキンググループの中でさらに研究していく。移行宣言の期限は設けていないが、スピード感を持ちながら丁寧に進めていきたい。

Q 佐賀県・佐賀市勉強会での分野毎のワーキンググループの開催頻度はどのように考えているのか。

A 分野ごとに移譲される事務のボリュームが違うので、開催の頻度も異なる。1番多いところでは、最低でも月に1回は開催したいと考えている。

Q 任意で設置できる児童相談所なども、ワーキンググループで取り扱ったほうがいいのではないかと。

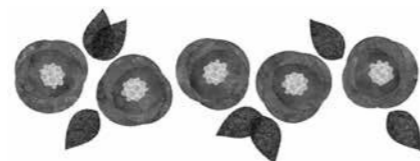
A まずは法定移譲事務の移行を優先したい。任意で権限を受けられるものは、適宜、県と情報交換をしていきたい。

Q 連携中枢都市圏構想は、今後どのような展開を考えているのか。

A 連携中枢都市圏構想として、どのような事業が佐賀市にとって有効なのか、庁内で研究を進めている。また、近隣の中核市を視察し、調査している状況である。

Q 保健所の設置で懸念するのは、獣医師などの専門職の確保である。勉強会でも、保健所業務の実情をしっかりと確認してほしい。

A 専門職の確保については、採用につながる良策をワーキンググループで県と協議していきたい。



委員会活動レポート ①

常任委員会や特別委員会などは、市民生活に深く関わる課題などについて、会期中以外にも調査、研究を行っています。最近の活動内容を紹介します。

佐賀空港の自衛隊駐屯地計画に関する調査特別委員会

9月25日(水)

九州防衛局から参考人を招致し、現地視察および駐屯地整備に係る聞き取り調査を実施。

【現地視察】 佐賀空港ターミナルビルの屋上で駐屯地工事の進捗状況について説明を受けた後、駐屯地西側の排水関連施設で工事の進捗状況について説明を受けました。

【九州防衛局の説明】 駐屯地工事は、隊庁舎の外壁や格納庫の鉄骨等、オスプレイの移駐に必要な施設について計画どおり進めている。また、排水関連施設では、送水管設置等の工事を行っている。令和5年度に実施した環境現況調査では、工事の影響で環境基準値等を超過した状況は確認されていない。令和7年度予算で、隊員等の宿舍の整備経費に約35億円を計上しており、部隊の即応性を確保するため、南川副地区に建設することを検討している。

Q 排水関連施設の工事で生じた掘削土を、駐屯地工事の埋戻材とするために混合した石灰の量は。

A 掘削土1立方メートルに対し50キログラム（kg）の石灰と混合しており、掘削土の総量が約37万立方メートルであったため、約1万8,500トンを使用した。

Q 掘削土に石灰を混合して駐屯地工事の埋戻材として使用すると、水質に影響が生じるのではないかと。

A 駐屯地工事のエリアは、長さ20メートル以上の鋼矢板を地中に打ち込んで囲っており、地下を通じて水が流出しないよう対応している。また、濁水プラントを設置し、公害防止協定で定められた基準を満たすよう処理している。

Q 隊員等の宿舍は、駐屯地内の隊庁舎と南川副地区に計画している宿舍の2カ所のみか。

A 2カ所に加えて、民間のアパート等を借り上げる想定である。



九州防衛局職員の説明を受ける委員

福祉教育委員会

意見交換会

10月4日(金)

「図書館を友とする会・さが」との意見交換会

市立図書館の大規模改修や、図書館員の雇用状態、図書館周辺の環境整備に関する問題・課題点などについて意見交換しました。



意見交換会の様子

議会広報広聴委員会

行政視察

11月19日(火) 鹿児島県霧島市

- 「議員と語りかい」について

11月20日(水) 大分県大分市

- 若年層との意見交換について
- 若年層に特化した議会モニターについて

両市ともに、担当委員会の委員から取り組みの経緯や今後の課題などの熱心な説明を受けました。質疑応答では、今後の議会報告会の在り方を念頭に、活発な意見交換を行いました。今後の議会報告会の参考になる充実した研修となりました。



霧島市役所



大分市役所

聴かせてください

あなたの声

市民の皆さんにお伝えしたいこと

地域の公民館では、学習会、趣味の会、高齢者サロン、子育てサロンなど、さまざまな行事が開催されています。お近くの公民館に出かけてみませんか？



佐賀市子育てサークル連絡会理事
つるまる まさか
鶴丸 雅加さん

佐賀市に望むこと

市街地のバスの便がもう少し活発であったら、もっと楽しい街になるかと思えます。

どんな活動をされていますか？

公民館での子育てサロン、あそびの広場、小学校のクラブ活動（昔あそび）など子どもに関わる地域活動をしています。

議会に対するメッセージ

「学校図書が古すぎる」という新聞記事を読みました。佐賀市の状況は、どうでしょうか？デジタル時代の昨今ですが、学校図書館のチェックをお願いしたいです。

佐賀市のここが好き

田舎ではあるものの、特に不便はありません。県庁、市役所、美術館、図書館など主な施設が近場にまとまっていて、住みやすさを感じます。

あなたが思う佐賀市のいいところと課題は？

バルーンが浮かぶ佐賀の広い空が好きです。世界から多くの人が佐賀を訪れるバルーンフェスタ期間中は、世界と佐賀のつながりを感じてわくわくします。バルーンフェスタ期間中はバスやJRの本数も増えますが、日常的にも公共交通機関が充実しているといいなと思います。



致遠館高校 普通科 3年生
よしだ あおい
吉田 碧依さん

今後の進路は？

高校2年生のときに海外研修に行ったことで、自分が住んでいるまちの良さを実感しました。高校卒業後は県外の大学で国際関係を学ぶ予定です。将来は佐賀や日本の素晴らしさを世界へ伝える仕事をしたいと考えています。

18歳になり、衆議院選挙がありましたね

高校の政治経済の授業で、政治は身近なものだと思うようになりました。「1票1票が集まれば大きな力になる。責任を持って投票へ。」という先生の話聞いて、選挙権を持つことを楽しみにしていました。初めての選挙は、家族みんなで投票に行きました。

取材：令和6年12月 山田副委員長・山下委員・藤田委員

編集後記

市民の皆さまにおかれましては、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年後半は、SAGA2024国スポ・全障スポが開催され、バルーンフェスタが悪天候で大幅に予定の変更を余儀なくされるなど、目まぐるしく過ぎました。11月定例会では、主に豪雨等災害関連経費、県立大学開学に伴う大和支所改修経費、新市20周年記念バルーン製作経費の補正予算などについて審議しました。

本年も市民の皆さまと共に、より良い佐賀市を目指して議員一同努力してまいります。

(諸富八千代)

2月定例会のお知らせ 2月27日(木) 午前10時開会(予定)

会期日程等については、開会日に正式決定し、ホームページでお知らせします。

議会報告会でいただいたご意見等を市長へ提出しました

議会報告会で、議会に関するもの、市政運営に関するものなど106件のご意見等をいただきました。このことについて、9月26日に全員協議会を開催し、議会広報広聴委員から各会場の様子やご意見等を全議員に報告しました。さらに、11月13日に議長、副議長、議会広報広聴委員会委員長、副委員長が市長にこれらのご意見等を手渡し、今後の市政運営への活用を要請しました。



リサイクル適性 A この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

UD FONT by MORISAWA

さが市議会だより Vol.88 発行 佐賀市議会 編集 議会広報広聴委員会
令和7年2月1日発行 〒840-8501 佐賀市栄町1-1 電話0952-40-7311

この冊子は1部あたり15円で制作しています。(ただし人件費など間接経費は含まれていません。)

さが市議会だより第88号(令和6年11月定例会)